

# 45名が出席し 伊勢谷氏講演

## 近畿支部総会

秋田高校同窓会近畿支部の平成二十年度総会および懇親会が平成二十年十一月八日(土)大阪梅田の「大阪弥生会館」で開催された。会員、来賓合わせて約四十五名が出席、本部から豊口同窓会長、仙波事務局長、学校より菊谷校長にご出席を頂き盛況だった。

総会は、物故者(例年になく多く辻前会長を含め六名)への黙祷で始まり、宇佐見支部長(昭三十三卒)の開会の挨拶、活動報告、会計報告と進められた。



恒例の講演は、伊勢谷祥三氏(昭三十四卒)が「船と航海の話」と題して航海士、船長時代のいろいろなエピソード

# 北秋田支部に 支部名を変更

## 鷹巣阿仁支部

北秋田支部(鷹巣阿仁支部改称)総会は、七月五日午後六時からホテルニュー松尾、耕ホールで開かれた。

記念撮影の後、奈良正人幹事長(昭四十一卒)が開会、藤原高司新会長(昭二十九卒)の挨拶に続き、山谷浩二同窓

ドを楽しく語ってくれた。

記念撮影の後、懇親会に移り、支部長の挨拶、ご来賓の近畿秋田県人会会長初め僚校同窓会代表の方々のご紹介、豊口同窓会長のご挨拶、菊谷校長の母校の近況についてのご報告の後、前支部長渡邊良宏氏(昭二十卒)の乾杯の音頭で開宴。

お酒が入るとともに懇談の輪が広がった。途中、初参加の五名の方々の挨拶、プロジエクターにより、歌詞を映写しての校歌、交友会歌の合唱等盛り上がりを見せ予定の二時間は瞬間に経過した。最後にまた来年の再会を約して散会となった。

(文責 鈴木 信)

# 終戦後の変革 思い出を語る

## 26年次同期会総会

昭和二十六年次同期会総会は、平成二十年十月十八日秋田市の協働大町ビルで、恩師の寺田光和先生、関東代表佐々木研吾氏と県外から今村辻原両氏の参加を得て開催した。

小泉会長の挨拶、物故者への黙祷の後、昨年度の会計決算並びに審議事項を承認。アトラクションでは、吉成俊太郎医師による「警察医と人間の終えん」と題した講話。来賓の寺田先生は乾布摩擦から始まる健康管理、一年ごとに

会副会長、石井周悦副校長が同窓会と学校の様子などを報告。議案審議では、新正副支部長以下監事と先の町村合併による支部名の変更、総会開催を二年ごとにするなどなどを全会一致で承認した。この後、前参議院議員の金田勝年氏(昭四十三卒)による近況報告があった。

校歌を歌い終わるころには、全員現役時代にタイムスリップ、各テーブルは話に花が咲

き、時間の経つのも忘れて閉会時間をオーバーするほど。最後は副支部長の小林宏農上小阿仁村長(昭三十一卒)の閉会の挨拶で、今回の再会を約して散会した。

翌日、辻会長がこの日逝去された報に接し、五年前の支部総会に出席された元気なお姿を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌 (事務局佐々木孝憲 記)



年齢を重ねてゆく人生の過ごし方、心構えを講話された。また、佐々木研吾氏は、関東地区の近況と旧制中学への入学、終戦後の学校生活に多様な経験を重ねたこと。そして教育制度の変革で学生生活にも自主的な面が認められ困惑した思い出を語った。

乾杯の音頭で開宴、関東からの二名の出席で大いに盛り上がり、旧知を温めること約二時間、極めて有意義に過ごすことができた。

最後に、来年は喜寿。特別企画で同期会を催す予定であるので多くの会員の出席を期待している。

(事務局太田洋生 記)

つどい